

《意見交換の概要》

1 日時

平成 28 年 2 月 25 日（木）16 時～17 時

2 場所

東京都市大学横浜キャンパス 4 号館食堂

3 出席者

(1) 東京都市大学

地域連携調査研究発表会 発表者 13 名

吉崎真司環境学部長、中村雅子メディア情報学部長

(2) 都筑区役所

畑澤区長、奥田副区長、佐藤福祉保健センター担当部長、平山土木事務所長

4 意見交換の概要

(1) 開会、趣旨説明

田中区委推進課長

(2) 都筑区長あいさつ

皆さん、こんにちは。

ただいまご紹介のありました
都筑区長の畑澤でございます。

本日は、地域連携調査研究発表会に引き続き、区長の気軽に
トークにご出席いただきまして
ありがとうございます。

先程の研究発表会では、様々な
テーマについて、調査・研究の成果を拝聴させていただき、大変興味深く感じました。

さて、このあとは「研究の成果を踏まえた区役所や市役所への提案」などをはじめ、自由
闊達に皆さんと意見交換をさせていただければと考えています。また、都筑区に在住・在学
している区民という立場で、日頃の生活において感じていることなども率直にご意見いただ
ければと考えています。

約 1 時間と、大変短い時間ではございますが、どうぞよろしく願いいたします。

本日はどうもありがとうございます。



(3) 東京都市大学の皆様から自己紹介等

○中山さん、矢嶋さん、鈴木さん

（「知識の連結－非専門家による AR コンテンツ開発を支えた技術と人のつながり－」）

都筑区に在住していても、都筑区のことを分からないという人が意外に多いと思います。
今回研究した AR コンテンツが、それを手助けするものになればと考えます。これを通じ
て、自分自身と関係する方々と接する機会が増えるのではないかと思います。

また、今回の研究では、横浜市役所の政策局の方々に協力していただきました。災害が



起きた時に、ぜひ今回のコンテンツを市の方々にも活用していただきたいと思います。市の職員の方が市民の方々を誘導する立場で、その手段として活用していただきたいと思います。

○小畑さん

(「地域系クラウドファンディングの成功要因の分析」)

当初は、広い範囲を見て研究を進めていましたが、インタビュー調査などを通じて、地域志向のプロジェクトの方々とかかわっていくうちに、考えが変わってきました。

研究を通じて、「地域を盛り上げていきたい」という方向になりました。

○櫻井さん

(「下水道を核とした環境教育プログラムの開発と実践」)

下水道の可視化について研究しました。

研究の中で感じたこととして、都筑区は有用なデータをたくさん持っていて、市民に開示していると思いますが、それだけでは市民に伝わらない部分もあるということです。

可視化が追い付いていないのではないかと思います。市民にとって、本当の意味で有用なデータになるよう検討していただきたい。

○水野さん、秋元さん

(「地下水の理化学性の類似性による汚染源の究明と経時変動に関する研究」) 研究にあたっては、都筑区内で実地調査を行いました。

目的としては、災害時に地下水が使えるようにしたいということですが、調査結果では汚染が見られ、これでは災害時には使えない状況でした。

横浜市でも、使えるようにするための対策や汚染の防止について、災害用井戸を調査されていると思いますが、ぜひさらに調査を進めた方が良いのではないかと思います。

また、地域の方々は、なぜ汚染してしまっているのかが分からないことが多いと思います。そのため、井戸を持っている方々にきちんと伝える必要があると思います。



○清水さん

(「パーソントリップデータからみる都筑区のモダルシフト」)

研究の一環で、私自身も自宅(世田谷区)から大学まで自転車に来てみましたが、1時間ほどで到着できました。その時に感じたこととしては、①片側1車線道路に街路樹があり自然を感じることができた②自転車と歩行者が歩道を一緒に通行している③街路樹があることはとてもよいが、その分歩道が狭くなる などです。

また、自転車の左側通行が浸透していないことも気になりました。

さらには、自動車は免許が必要でありルールが徹底していますが、自転車は家庭環境によってもその浸透度合いが違うのではないかと思います。

今後も、学校などでの指導が必要と感じています。

○松島さん

(「樹木が屋外熱環境に及ぼす影響・効果の実測調査」)

今回の研究にあたっては、徳生公園で実測調査を行いました。

子どもの頃、川和町に住んでいて、自然の中で遊ぶことができる場所が、とても豊富にありました。でも、グリーンラインの開通で変わったようです。

そのような経緯もあり、都筑区内がどう変わったかを調べてきました。

調査結果を少しでも多くの方々に聴いてほしかったので、発表会で発表でき良かったです。



○山口さん、赤羽さん

(「駅前広場における滞留行動と隣接する大型商業施設の関係性に関する研究—港北ニュータウン センター北・南駅前広場を事例に—」)センター北及び南のことを調べてきました。

駅周辺は落葉があり、また雨天時のための雨よけの必要性も感じました。

また、清潔感を保つことも大切と思われ、そのためのマネジメントも必要と考え

えます。

今回の調査を通して、都筑区のグリーンマトリックスは市外出身者からするととても魅力的で、当初はセンター北の芝生広場はじゃまと考えましたが、調査している中で芝生広場の有意義さが分かり、考えが変わりました。

センター北、南とも、今後さらに新たな改善が進むと良いのではないかと思います。

特に、センター南はコンパクトにまとまったところに良さがあると思いました。

○矢部さん

(「都筑区牛久保地区の個人住宅の庭を対象とした生物調査プログラムの改良と適用効果の

検証」)

今回の調査にあたっては、牛久保町内会の皆さんにご協力いただきました。

調査の過程で、町内会の皆さんと都筑区役所の皆さんには、認識の違いがあり、町内会の皆さんは庭側に植樹したいと考え、都筑区役所は道路側の見える場所に植樹してほしいと考えているようでした。つまり、区役所の考えがきちんと伝わっていないということで、これはとてももったいないと感じました。

町内会の皆さんへのもっと丁寧な説明による協力依頼が必要だと思いました。

○佐野さん

(「オフィスビルにおける執務者の知的生産性に関する研究」)執務室に関する、「暑さ寒さの重要性」について調査を行ってきました。

この研究を通じて、「暑さ寒さ」は温度調節だけではないこと、温度調節になると冷暖房の調節になりますが、それだけでなく、窓をあけて風を入れたりということ、

つまり、電力消費を伴わない調整もあることを伝えたいと思いました。より一層、冷暖房に頼らないことができればと考えています。



○吉崎環境学部長

学生、各々の発言内容がとても素晴らしいと感じました。

それぞれの研究、例えば自然の仕組みを、「どうまちづくりに反映させていく」かを考えていけば、研究がその後につながっていくと思います。

様々な情報が多くの方々に伝わり、みんなで共有できれば、これがまた次につながるということです。



○中村メディア学部長

私たちの学部の研究の目的は、情報技術を地域コミュニティの活動にどう活かせるかということだと思います。

今日の学生の皆さんのコメントは素晴らしかったです。

発表は、「100」の要素を「10」に凝縮させポイントを説明することであり、難しいですが、とても意味のあることだと思います。今日の発表は、中身が詰まった素晴らしい発表だったと思います。

(4) 意見交換

○都筑区長

オープンデータ化は区としても取り組んでいくべきものと考えています。進めていきたいが、目的にとどまってしまっただろうかと思っています。「活用は自由ですよ」で終わりではないと思います。活かし方をどうするか、このことも連携して取り組んでいければと感じました。データを役に立つことに活かしてもらいたい、そしてレベルを深めるための「知恵」をぜひいただければと思います。

災害用井戸を、有時には生活用水として活用することについて、発表を聴かせていただきすごいと感心しました。ぜひ有効活用できればと思いました。

○平山土木事務所長

自転車対策については、都筑区として現在調査していますが、自動車も含めて、1キロ圏内での利用が比較的多い状況であり、自動車を使わず歩いていただければ一番良いのですが。

また、自転車は歩道の走行は原則NGです。とはいえ、すべて車道を通り、駅まで誘導してみると、なかなかいきつかない状況です。

途中緑道を横切りながら、自転車歩行者専用道路を使い、駅までのルートを、なるべく蛇行なしで行ければと考えています。このことは、5年～10年かけて整理することでもあると思っています。



○清水さん

自宅から大学まで国道246を自転車で走行したのは辛かったです。

上り坂が多く苦勞しましたので、坂道が少ないルートを目で見て分かるように誘導していただければ助かります。

○平山土木事務所長

私自身も卒論で接道空間をテーマにしました。共有空間である庭がつながり、街中がきれいなオープンガーデン化することを考えました。

共有の空間として多くの人に見てもらおうことで、「きれいに」手入れすることになり、また自分の庭ではなく、「街の庭」という意識に発展します。

○佐藤担当部長

地域ケアプラザは「お金」よりも「人材」を求めていると思います。

地域の人材を集めて有効活用できないかと考えていますが、このようなケースに、クラウドファンディングを活かせるか。

○小畑さん

実際に、そのような人材活用に関するサイトもあります。

○佐藤担当部長

福祉的な人材、例えば庭の掃除などに、ボランティアの方々を集めることができますか。



○小畑さん

クラウドファンディングの趣旨はお金を集めて、次につなげることで、今いただいたお話はボランティアの確保の話ですので、少し趣旨が違うと思います。

ただ、何らかの形で連携できれば面白いと思います。

○中村メディア学部長

継続的なボランティアというのは難しいかもしれませんが、一時的なサポートスタッフの募集などはできるのではないかと思います。クラウドファンディングの認知度が上がれば、違った展開も考えられると思います。

○小畑さん

今回の意見交換で、わたしたち学生が提案したことは、実際どこまで実現性がある話なのか教えてください。これまで、いつも疑問に思っていました。

○畑澤区長

行政として事業を行う場合は、まず組織としての意思決定が必要となります。

内容により、区役所のみでできるものもありますし、市役所全体として見れば、他区への影響なども考える必要があるのではという場合もあると思います。

予算の確保も当然必要になります。

時間がかかることもあります。

○清水さん

都筑区役所から、大学に「頼りたい」部分は具体的にあるのですか。困っているので、こういう部分で連携したいなどがあれば、示していただけると助かります。

○畑澤区長

各自、研究室として発信していただければと思います。そしてぜひ継続していただきたい。広めていけば新しい視点も加わります。



○吉崎環境学部長

都筑区役所と東京都市大学で協定を結んでいます。区役所が求めていることは提示してもらっているので、そのような意味では連携しています。区役所の求めに対して、大学の知見、学生のパワーを活かしてもらおうと良いと思っています。

○平山土木事務所長

行政としての情報発信は、現在では、ホームページやリーフレットが中心です。

どのように普及啓発を行うのが効果的なのか、なかなか分からないところです。

もっと良い方法があればと思っています。

一番良いのは「フェイスツーフェイスなのですが」。

センター南、北のオープンスペースの効果的な活用については、現在まだ過渡期であり、地元の商業振興会も悩んでいる状況です。まだまだ街が出来上がっていないので、街の動きを見ながらの提案が必要になるのではないかと思います。

ぜひ、活気あるセンター北、南になればと思います。

○田中区政推進課長

皆さんの地域とのつながりと区が持っている情報とで、研究がもっと生きてくるのではないかと思います。

○松島さん

徳生公園を調査していて、子どもが全然いないのはなぜなのかと思いました。

外で遊ぶ子どもが少なくなったということなののでしょうか。

センター南や北は家族連れが多いのですが、この5～10年で変わったということなののでしょうか。





○佐藤担当部長

私が子どもの頃は、外で遊ぶことは普通でしたが、最近は外で遊ばせない傾向もあるようです。

そのため、区役所の事業として、「外遊び広げ隊」という事業も行っているくらいです。

外遊びの仕方を、専任のインストラクターが指導しています。

「公園が多い」、「環境が良い」が有効活用されていない状況です。

○吉崎環境学部長

私が牛久保の住民になって4年が経ちました。

街に「森」をつくりたいと思いますが、防犯の観点も重要で、そうすると見通しがきく緑であることが重要であり、場所も限られてきます。

徳生公園や鴨池公園などは緑が多いのですが。

「景観」、「遊びやすさ」、「配置」をどうするか難しいところです。都市の緑は難しいです。

○赤羽さん

徳生公園の中を歩いて大学に通学していますが、みんな、もっと自然に触れ合っても良いのではと思うことがあります。

確かに、夜は暗く、危ない印象があります。また自転車の通行にも気をつけないといけない状況です。

○櫻井さん

下水道のアプリをどう広めるのが良いかを考えています。

その際、下水道とごみの問題をからめるのが良いかと考えています。

行政で発行している、ごみの捨て方のリーフレットにQRコードを掲載するのはどうでしょうか。

おおもとになっている問題（ごみの問題）とからめるのが良いと思うのですが。





○矢部さん

緑道の犯罪は不安です。緑が増えると犯罪が高まるという統計もあります。

私の後輩が、行政の方の話を聴きながら研究を進めたいと考えているようなのですが、どのように行動に移せば良いかわからないで困っている様子です。

今日のようなこのような意見交換をしていただく場があると助かります。後輩は、例えば、町内会の小さなイベントな

どで相談会などもやってみたいと思っているようなのですが。

○平山土木事務所長

現在、緑道の再整備を考えています。

先程からご指摘のように、緑道は、「暗い、密生、自転車、舗装」などの問題・課題があります。

そのため、今後意見交換会を地域で行いたいと考えています。

今後、4月にはゆうばえの道、せきれいの道について行う予定ですので、ぜひそのような場に出てほしい旨、後輩の方にお伝えください。

○吉崎環境学部長

「市民科学」ということばがあります。コンサルタントにお願いするのではなく、市民が携わり、重要な、科学的なデータをとることです。

これにより、市民参加が進み、市民の達成感も生まれると思います。

そして、学生も市民の一人です。

○矢部さん

学生、特に1～2年生は暇をもて余しています。

人手が必要であればぜひ言ってください。ホームページに募集をアップしていただければと思います。学生をうまく使ってください。

○平山土木事務所長

生物多様性について、野草のモニタリングが必要ではないかと考えています。これについても学生の皆さんに協力していただければ助かります。

○田中区委推進課長

先日、中川の地域の方と話した時に、東京都市大学と連携をしたいと言っていました。

地域の方々との連携もぜひ引き続き取り組んでいただければと思います。

(5) まとめ

○畑澤区長

本日は、お忙しい中、貴重なお時間をありがとうございました。

研究の成果を踏まえた区役所や市役所への提案や都筑区での日頃の生活で感じていることなどなどお聞かせいただきました。

いただきましたご意見は、これからの区政運営のなかで参考にさせていただくとともに、東京都市大学様と区役所の今後の連携協力にも活かしていくことができると考えています。

引き続き、様々な場面で皆様方のお力添えをお願いさせていただくことになると思いますが、今後ともどうぞよろしくお願いいいたします。

本日はどうもありがとうございました。

